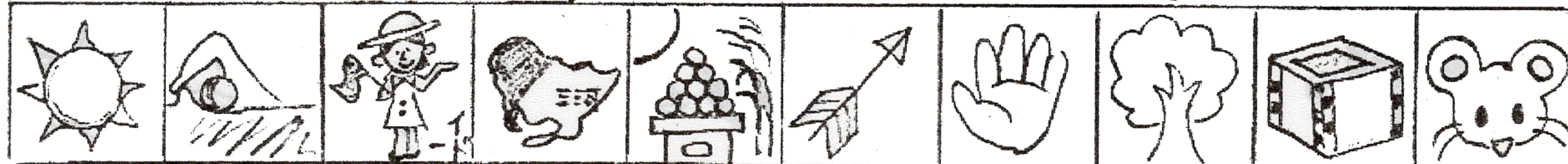




やまもも

「やまもも」は年に2回、少年自然の家周辺の自然情報をお届けする情報誌です。ぜひ一読いただき、お子様にお伝えいただければと思います。お子様が少しでも自然に興味を持ていただければ幸いです。

あついなつが おわり、あきが やつて きますね

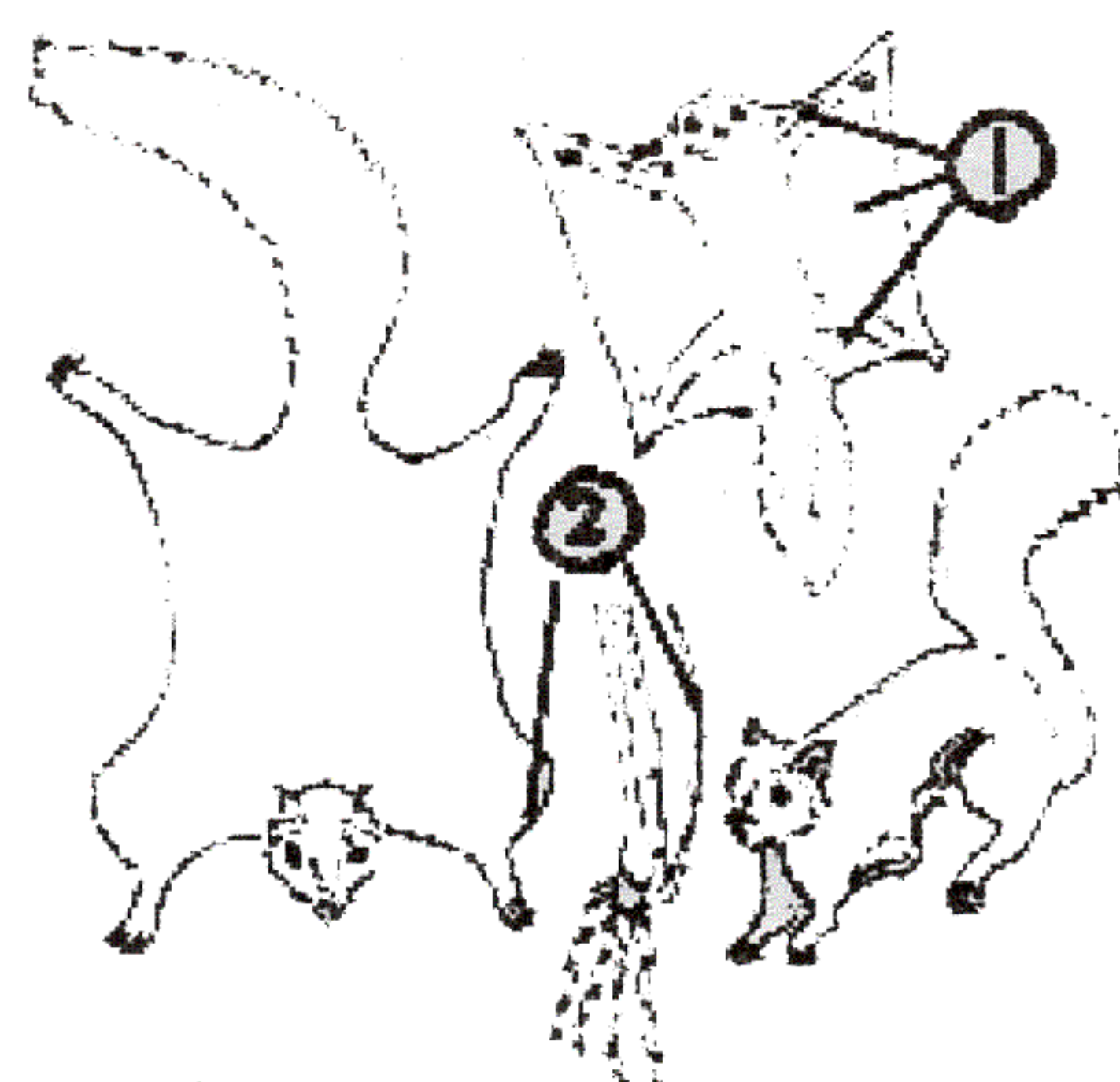


かぞく で のやまのおしのおとやよぞらを た の し もう



自然の家にムササビが...

2014 年夏のナイトハイクで初めて参加者の前に姿を現したムササビ。またたく間に小さめの座布団くらいのシルエットが樹間を滑空（かっくう）しました。ムササビは、自然の家でよく見かけるホンドリスと同じネズミ目（げうし目）リス科の哺乳類で、木の実や花、新芽、葉など幅広く食べます。ムササビの巣は主に大きな樹木のうろなどが利用されることが多く、そのような巣場所に適した環境がある社寺林などでその生息が確認されることが多いようです。時には神社の社殿の屋根裏などが利用される場合もあります。さて、初めての出会いの後、自然の家でフクロウの調査をしている人から、フクロウの巣箱をムササビが利用している情報が入りました。それは、ムササビを目撃した場所のすぐそばでした。次のムササビとの出会いは、2015 年の 1 月、巣箱からそれほど遠くない場所で、夜中にムササビのオスがメスに求愛のために発する「ギョルル・ギョルル・・・」という大きな電子音のような連続声を聞いたことです。もしムササビが繁殖していれば、定着していることが期待されます。そして7月の梅雨明けの日、ムササビが利用していたフクロウの巣箱のある木に登ってのぞいてみました。そこには、ムササビはいませんでした。杉の皮を細かく裂いた巣材がきれいに残って



いました。今も自然の家の森のどこかにいるのでしょうか。また会えることを期待し、巣場所の木の上から森を眺めると、枝を渡って築水池に向かって滑空するムササビの姿が思い浮かびました。

※ムササビは愛知県では準絶滅危惧種に指定されています

①皮膚（ひまく） 皮膚を広げ、滑空する。

②針状軟骨（はりじょうなんこつ） 皮膚を広げる働き

みんなで緑を育て 自然を守ろう

冬×自然体験プログラム

12 / 20 日 19 日 1 / 31 日 30 日 2 / 14 日 13 日

冬の自然をみんなでたのしもう！

今年の冬は自然の家で☆

土日・宿泊者・限定

申込み締切…開催日10日前
施設予約のときに申込み受付

Ⓢ：実施時間 Ⓞ：参加料/ひと

も ちつき
Ⓢ 9:30~12:30
Ⓞ 500円
※10人以上で実施

バードウォッチング
Ⓢ 7:00~7:45
Ⓞ 100円

キャンドルづくり
Ⓢ 13:00~15:00
Ⓞ 500円
※どれかひとつの

草木染め
(ハンカチを染めます)
プログラムを
選べます。

家族・お友達と一緒に
冬のプログラムも体験してみませんか！

天体観測
Ⓢ 19:00~19:30
Ⓞ 100円

みくら山
トレッキングツアー
Ⓢ 9:00~12:00
Ⓞ 500円

平成27年度“楽しいもよおしもの”のご案内

◆わくわく自然ランド【紅葉と芋煮】



Ⓞ 600円
Ⓢ 11/8日
対象 3歳以上
ただし小学3年生以下は保護者同伴
広報 10/15号
定員 80人

◆電ってキャンプを楽しもう！



Ⓞ 5,000円
Ⓢ 10/31日
~11/1日
対象 小学6年生
~中学3年生
広報 9/15号
定員 15人

◆自然学校【里山木こり体験】 全3回開催



Ⓞ 5,500円
Ⓢ 第1回 12/12日
第2回 1/23日
第3回 2/6日
対象 小学3年生
~一般
ただし、小学生は保護者同伴
広報 11/15号
定員 20人

◆山ガール・山女子入門秋



Ⓞ 500円
Ⓢ 11/6日
対象 一般
広報 10/15号
定員 15人

- ちびむすくらぶ〜キノコをさがそう〜10月
- 初めて挑戦アウトドア【冬】 11月
- 冬のファミリーキャンプ 12月
- ちびむすくらぶ〜たき火をしよう〜12月

その他

※詳しくは広報春日井・ホームページ等をご覧ください。

公財)春日井市スポーツ・ふれあい財団 ホームページ <http://www.spofure-kasugai.or.jp/natures/index.html>



発行 春日井市野外教育センター 少年自然の家

発行日 平成27年9月8日

問い合わせ 0568-92-8211

ホームページ <http://www.city.kasugai.lg.jp/shisetsu/22034/ie/index.html>